整備概要、施設の機能、館内平面図、津波避難について

整備概要

東日本大震災により甚大な被害を受けた久之浜・大久地区においては、震災の教訓を踏まえ、海岸・河川の津波防災対策のほか、避難の徹底等を通した多重防御による「減災」の考え方を津波防御の基本としておりますが、本施設は、津波浸水予想地域内において、地域住民等が緊急避難することができる津波避難ビル(※)として整備しました。

なお、施設整備にあたっては、久之浜・大久支所が有する災害時の防災拠点機能及び久之浜公民館が有するまちづくり活動拠点機能を一体化・集約化した久之浜・大久地区の防災拠点施設としました。

※ 津波発生時、高台までの避難に十分な時間が確保できない場合に緊急避難する施設

施設の機能

平常時

- 施設（研修室・和室・調理室・講堂）の貸し出し
- 施設を活用した各種市民活動及び地域コミュニティの形成支援
- 防災まちづくり資料室における震災の記録や津波ハザードマップ等展示
- 防災訓練（津波避難訓練）等の実施

非常時

- 津波災害時の避難スペースの提供（研修室及び和室等⇒避難スペース）
- 非常用発電設備、防災倉庫（備蓄品及び資機材等）
- 防災拠点として災害対策本部の設置

外部から避難される方

北側駐車場又は南側防災広場を介し入館し、階段を上って屋上へ避難してください。

緑色の矢印が避難動線です。

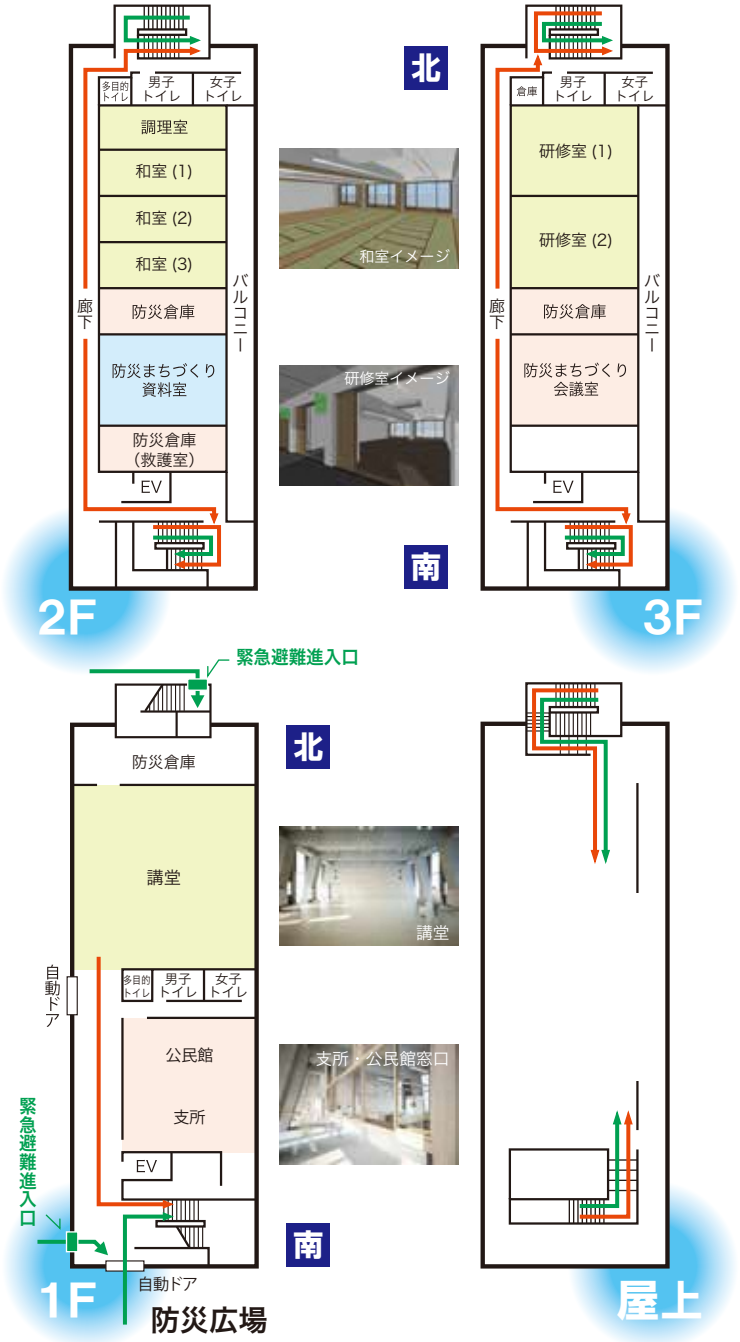
緊急避難進入口

閉館時は、第一避難者が緊急避難進入口を破壊しドアを開錠後、外部避難者を建物内に誘導する。

内部で避難される方

外部避難者との交錯が無いように、注意しながら階段を上って屋上へ避難してください。

オレンジ色の矢印が避難動線です。



100年後、1000年後までも大切な命を守るために

久之浜・大久 防災まちづくり資料室

概要

久之浜・大久地区の防災力の向上を図るには、本施設の整備などハード事業とあわせて、地域住民の防災意識の向上や、防災訓練、避難訓練の実施など、ソフト事業を強化していく必要があることから、震災の経験・記憶・教訓を後世に伝え、防災意識の向上を図り、地域防災力の強化に資するため、防災まちづくり資料室を整備することとしました。

プロローグ

震災時の久之浜・大久の写真を展示しています。また、「東日本大震災の久之浜・大久地区の皆さんの声」を展示し、人との気持ちの交流を感じていただきます。

久之浜・大久地区の津波被害

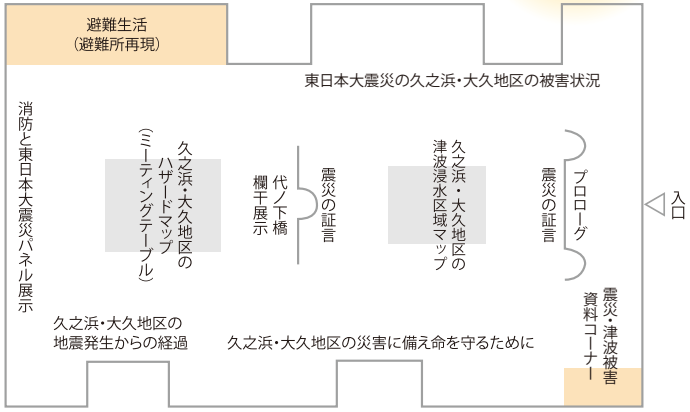
津波の被害状況を写真や映像で展示する他、津波の遡上状況をマップにしたものを展示しています。

被災の生活

被災した後の久之浜・大久地区の人々の生活などを、避難所のレプリカなどを通し感じていただきながら、被災の際はどんなことが大変なのかや、日頃の備えまでを考えていただきます。併せて、震災からのいわき市の動きを展示しています。

災害に備え命を守るために

災害の際に、どう命を守るかを久之浜・大久地区のハザードマップの展示（避難に関しディスカッションできるようなハザードマップテーブル仕様）や市で行っている防災メール配信サービスの資料などで理解しながら、今後の災害への備えを考えていただきます。

震災資料

展示された写真などの資料以外の写真などをファイリング・アーカイブ化し、来館者の方々に閲覧していただきます。